⑶　資金不足比率の状況

（単位：％）

年度／資金不足比率	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）		平成22年度（第２年度）		平成23年度（第３年度）		平成24年度（第４年度）		計画最終年度（平成25年度）
資金不足比率	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
	66.9	60.6	55.1	59.4	50.5	50.6	41.8	29.5	17.2	7.1

２　今後の公営企業の経営の方針

⑴　健全な経営の確保に関する事項

①　収入の増加に関する事項

・平成23年10月１日から実施してきた「八戸市内路線バス300円上限実証実験」により、実験後はバス利用者数に下げ止まりの兆候が見られる。平成25年10月からの本格実施にあたり、さらなるＰＲに努め、利用者の増を図る。

・企画商品の開発、マイカーからのバスへの移動手段の転換ＰＲ等により、新たなバス利用者の増を図る。

②　支出の削減に関する事項

・正職員の出向・退職に伴う人員補充については、嘱託職員の採用を基本とし人件費の圧縮に努める。

③　その他

・利用しやすいダイヤ編成や安全で快適なサービスの提供等により、利便性・快適性の向上を図り、バス利用者の満足度を高めるとともに、新規バス利用者数の増を目指す。

⑵　その他公営企業の経営の合理化に関する事項

今後とも少子化・人口減少時代の到来など厳しい経営環境が続くことが予測される中、これまでの健全化計画の成果を引き継ぐとともに経営の合理化に努め、持続可能な経営体質を維持することにより、公営交通として、引き続き市民の移動手段を確保する。

京都府京都市　京都市自動車運送事業特別会計

経営健全化計画完了報告（要旨）

１　経営健全化計画の平成24年度実施状況

⑴　計画と具体的な措置の状況

・収入増加策については、鉄道との乗継利便性向上や観光系統の充実をはじめとする増客に向けた系統・ダイヤの編成、広告付きバス停留所やベンチの整備によるバス待ち環境の向上などを計画どおり実施。

・コスト削減策については、総人件費の削減、バス車両の更新年数の延伸などを計画どおり実施。

・一般会計からの補助金については、生活支援路線補助金の補助金額を計画の２分の１にするとともに、市バスの購入費に対する補助金を全額休止。

⑵　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

年度／区分	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）	平成24年度（第４年度）	計画最終年度（平成27年度）
当初計画　A		1,616,994	232,748	827,000	1,221,000	1,288,000
解消実績額　B		2,797,389	1,554,838	2,157,308	1,624,733	—
現在計画　C		2,797,389	1,554,838	2,157,308	1,624,733	1,288,000
Ｂ－Ａ又はＣ－Ａ		1,180,395	1,322,090	1,330,308	403,733	—
資金不足額	11,382,717	8,585,328	7,030,490	4,873,182	3,248,449	—